

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製 品 名：マジカル SP-3 専用プライマー

会 社：日本ジッコウ株式会社
住 所：兵神戸市西区南別府 1 丁目 1 4 番 6 号
担 当 部 門：技術企画部
電 話 番 号：078-974-2909
F A X 番 号：078-974-8631
用 途：化学品

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

皮膚感作性：区分 1

【GHS ラベル要素】



「注意喚起語」
警告

「危険有害性情報」
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

「注意書き」
《安全対策》
保護手袋を着用すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

《応急措置》
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、そして再使用する場合には洗濯をすること。

《廃棄》
適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性

- ・この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS 分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性がある GHS 分類以外の危険性に関するものである。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

記載の物質に基づくポリマーの水性分散液：アクリル酸エステル、スチレン

GHS 分類に寄与する成分

ポリ(オキシエチレン)=p-(1, 1, 3, 3-テトラメチルブチル)フェニルエーテル

含有量 (W/W)：<= 0.3 %

急性毒性：区分 5 (経口)

CAS 番号：9002-93-1

水生環境有害性 短期(急性)：区分 3

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 3

アジピン酸ジヒドライド

含有量 (W/W)：>=0.1%-<1%

皮膚感作性：区分 1

CAS 番号：1071-93-8

水生環境有害性 短期(急性)：区分 2

化審法：(2)-865 5

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 2

労働安全衛生法：(2)-86

2-n-オクチル-4-イソチアゾリン-3-オン

含有量 (W/W)：<=20PPM

急性毒性：区分 3 (吸入-粉塵)

CAS 番号：26530-20-1

急性毒性：区分 3 (経口)

化審法：(5)-5246

急性毒性：区分 3 (経皮)

労働安全衛生法：(5)-5246

皮膚腐食性／刺激性：区分 1B

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：区分 1

皮膚感作性：区分 1

水生環境有害性 短期(急性)：区分 1

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 1

M-ファクター 急性：100

M-ファクター 慢性：100

4. 応急措置

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

- ・汚れた衣服は取り替える。

吸入した場合

- ・安静にし、新鮮な空気のある場所に移動させ、医師の診察を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・石鹸と水で完全に洗い流すこと。

眼に入った場合

- ・直ちにまぶたを開き流水で 15 分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合

- ・直ちに口をすすぎ、200～300ml の水を飲み、医者 の 診 察 を 受 け る。中 毒 情 報 セ ン ター また は 医 師 の 指 示 が な い 限 り、吐 か せ な い こ と。

医師に対する特別な注意事項

- ・症状:(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

危険有害事項

- ・有害性は予想されない。

処置

- ・症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。

5. 火災時の措置

適切な消化剤：噴霧水、粉末、泡、二酸化炭素

火災時の特有の危険有害性：有害性は特になし。

追加情報

- ・汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。製品自体は非可燃性であるが、周辺の消火方法に留意すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・保護具を着用する。皮膚および眼との接触を避けること。

環境に対する注意事項

- ・未処理で河川等に流さないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- ・少量の場合：吸着剤に吸収させ回収し処分する（例：砂、おが屑、珪藻土）。法令に従って吸着剤を廃棄すること。
- ・大量の場合：ポンプで容器に回収する。
- ・残渣の場合：水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・労働安全衛生法に関する実施基準に従い、取り扱うこと。長期保管後、ごく少量の一酸化炭素が発生する可能性がある。我々の知りうる限りでは、使用中に職業曝露限度（OEL）を超えることはない。タンクへの入槽は、意図した清掃後で、残留蒸気が除去されたことを確認した時のみ行なうこと。密閉空間への入槽に関する国の法律を遵守し、国際的標準を考慮すること。懸念のある場合には、一酸化炭素濃度を測定すること。

保管

- ・適切な包装容器材料：高密度ポリエチレン（HDPE）、低密度ポリエチレン（LDPE）、ガラス繊維強化プラスチック（GRP）、ステンレス鋼 1.4301、ステンレス鋼 1.4401、焼き付け、ガラス
 - ・保管条件に関する追加情報：凍結しないように保護して保管すること。直射日光を避けること。
-

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

この物質の放出及びその量は処理条件に依存する。

アンモニア、7664-41-7；

STEL（short term exposure limit：短時間）35ppm(ACGIHTLV)

TWA（time weighted average：時間加重平均）25ppm(ACGIHTLV)

TWA（time weighted average：時間加重平均）17mg/m³；25ppm（日本産業衛生学会 職業ばく露限度(JP)）

保護具

手の保護具

- ・長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋（EN ISO 374-1）
（保護指針 6 に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1 によると、透過時間は 480 分以上であること）：ニトリルゴム(0.4 mm)、クロロプレンゴム(0.5 mm)、ブチルゴム(0.7 mm)など。
- ・補足：仕様は、試験、文献データ及び手袋製造業者の情報に基づくもの、あるいは類似の物質から類推されたものである。条件が多いため（温度など）、耐薬品性保護手袋の実際の使用時間は試験で別途得られた物質透過時間よりもかなり短いと考えなければならぬ。

眼の保護具

- ・サイドシールド付き安全眼鏡（フレームゴーグル）（例 EN166）

一般的な安全及び衛生対策

- ・休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。皮膚および眼との接触を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	：液体、分散系
色	：白色
臭い	：かすかな臭い
臭いのしきい値	：データなし
pH	：8～9.5
記載物質に関する情報	：水
	凝固点：0℃
	沸 点：100.0℃
引火点	：適用せず
蒸発率	：データなし。
可燃性(固体/ガス)	：引火性ではない。
爆発下限界	：分類と表示に関連しない液体に関するものである。
爆発上限界	：分類と表示に関連しない液体に関するものである。
自然発火温度	：適用せず
熱分解	：正しく使用すれば、分解しない。
自己発火性	：自己発火性なし。
爆発危険有害事項	：爆発性なし。
火災を引き起こす性質	：火災伝播性はない。

記載物質に関する情報：水

蒸気圧: 23.4 hPa (20 °C)文献データ

密度 : 約 1.04 g/cm³(20°C)

相対密度 : データなし。

相対ガス密度 (空気) : 適用せず

水に対する溶解性 : 一部可溶(15 °C)

水混合性 : 混合可

n - オクタノール/水分配係数 (log Pow) :
適用せず

粘度 : 500～1,500 mPa.s(20 °C) (DIN EN ISO 2555 (LVT))

固形分 : 46.5～49.5% (DIN EN ISO 3251)

その他の情報

粒子サイズの範囲 : < 0.1 μm～10 μm

10. 安定性及び反応性

避けるべき条件 : 極限温度を避けること。

熱分解 : 正しく使用すれば、分解しない。

混触危険物質 : 避けるべき物質はなし。

危険有害な分解生成物 : 通常の手扱い条件下で危険反応なし。長期保管後、ごく少量の一酸化炭素が発生する可能性がある。

通常の手扱い条件下で危険分解物なし。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の評価 : 単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。本品は未試験である。

記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

実験または計算によるデータ

・ LD50(半数致死量)ラット(経口) : >2,000～10,000mg/kg

刺激性

刺激性作用の評価 : 本品が皮膚に付着している場合、乾燥時に刺激が起こることがある。

眼刺激性なし。皮膚刺激性なし。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

実験または計算値によるデータ

・ 皮膚腐食性／刺激性 ウサギ : 刺激性なし(OECD テストガイドライン 404)

・ 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ : 刺激性なし(OECD テストガイドライン 405)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価 : 皮膚と接触すると感作を引き起す恐れがある。

生殖細胞変異原性

変異原性の評価：本品は未試験である。記述は、本品の構造に基づくものである。

発ガン性

発がん性の評価：評価できるすべての情報は、発がん効果を示す証拠はない。

生殖毒性

生殖毒性の評価：生殖毒性を起こさないと考えられる（組成に基づく）。

発生毒性

催奇形性の評価：発生毒性について、この物質の効果に関する評価の有効なデータは、適切な評価に充分ではない。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

単回ばく露評価：利用できる情報に基づく、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価：動物試験において、反復吸入ばく露後、有害影響は観察されなかった。本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

その他該当する毒性情報

現在までの経験及び知見では当製品は諸注意を守って取り扱う限り健康を害しない。本記述は、類似組成を持つ製品に基づくものである。

アレルギー反応を起こすことがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類に対する毒性：LC50（半数致死濃度）（96h）>100mg/ℓ、ゼブラフィッシュ（学名：Brachydanio rerio）（OECD テストガイドライン 203，止水式）
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

水生無脊椎動物：EC50（48h）>100mg/ℓ、オオミジンコ（学名：Daphnia magna）（OECD テストガイドライン 202-1，止水式）
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

水生植物：EC50（72h）>100mg/ℓ、緑藻（学名：Scenedesmus subspicatus）（OECD テストガイドライン 201）
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

微生物/活性汚泥への影響

・EC20（20%影響濃度）（0.5h）>100mg/ℓ、家庭廃水由来の活性汚泥（DIN EN ISO 8192-OECD 209-88/302/EEC 第 C）

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

魚類に対する慢性毒性：魚毒性に関するデータなし。
水生無脊椎動物に対する慢性毒性：ミジンコに対する毒性については、データなし。

移動性

環境区分間の輸送評価：データなし。

残留性・分解性

除去情報：>70%DOC 減少(OECD テストガイドライン 302B、ISO 9888、88)水から容易に除去することができる。この製品は、完全には試験が行われていない。これらの記述は、類似の構造もしくは、類似の組成の製品から得られたものである。

生体蓄積性

生体蓄積性：構造的特性から、ポリマーは生物学的に利用可能ではなく、生体蓄積性はないと考えられる。

その他の有害作用

吸着性有機結合ハロゲン(AOX)：データなし。

追加情報

その他の環境毒性情報：未処理のまま河川等に流さないこと。現在の知見に基づくと、環境に悪影響を与えないと考えられる。
環境データは類似物質のデータによる。

13. 廃棄上の注意

国内の法令に従い廃棄するか焼却すること。
欧州廃棄物リスト (European waste catalog:EWC) による廃棄物コードを指定することは不可能である。使用法により廃棄物コードは異なる。
国のまたは地方の法定事項に従うこと。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送：輸送規則では危険有害性物質に分類されていない。

海上輸送

IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない。

航空輸送

IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない。

追加情報

国内輸送規制は SDS の 15 章を参照のこと。

15. 適用法令

消防法：非危険物

表示すべき危険有害性決定要素：ポリ(オキシエチレン)=p-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)
フェニル=エーテル, 2-n-オクチル-4-イソチアゾリン-3-オン, アジピン酸ジヒドラジド

その他の規制

もしも、この SDS の他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載
されます。

16. その他の情報

この安全データシートは、JIS Z 7253(2019)に基づいて記載しております。記載されていない必要
項目は、情報が無いことを示します。記載のデータは、弊社の最新の知識及び経験に基づいて製品
を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものでは
ありません。また、当該製品 が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するた
めのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重
し現行の法律及び規則を遵守してください。
